

H.C.R. 2012 第39回 国際福祉機器展 H.C.R. 2012報告



1. オープニングセレモニー Opening Ceremony

第39回国際福祉機器展 H.C.R. 2012は、来場された皆さまや後援・協賛団体の関係者とともに全国社会福協議会 斎藤十朗会長の開会宣言で3日間の幕を開けました。引き続き、「くす玉オープン」(海外コーディネーター:クリスチャン・カーステンセン氏、ベン・アポロ・ラスムンセン氏〔欧州担当〕、トム・ポーチャディング氏〔北米担当〕、小林和弘本会理事長) を行い、H.C.R. 2012を開場いたしました。
○日時 9月26日(水) 9:50～ ○場所 東2ホール前

2. 15か国・1地域から548社・団体が出展 548 Exhibitors from 15 Countries / Territory

国内企業・団体の出展は490社・団体(うち、新規出展は101件)、海外からは14か国・1地域より58社・団体と、昨年度に比べて出展増となりました。

国名	社数	国名	社数
日本	490	韓国	2
アメリカ	11	メキシコ	1
イギリス	4	オランダ	1
カナダ	2	ノルウェー	1
中国	3	スウェーデン	9
デンマーク	6	スイス	1
フランス	3	台湾	9
ドイツ	4	トルコ	1

総面積51,380㎡の会場に、20,000点を超える福祉機器、介護用品が総合展示されました。

3. 15回出展企業・団体に感謝状を贈呈 Appreciation Award Ceremony for 15th participation in H.C.R.

H.C.R. 2012開催初日の9月26日(水)に、今年度で本展示会への出展が15回目を迎える企業・団体(海外4社、国内14社)に対して、小林和弘本会理事長より感謝状の贈呈を行いました。

H.C.R. 2012 感謝状贈呈企業

1 LEVO AG (Switzerland)	10 (株) 加地
2 Q'STRAIT (U.K.)	11 キシ・エンジニアリング (株)
3 Sunrise Medical GmbH & Co. KG (Germany)	12 クマリフト (株)
4 Sunrise Medical (US) LLC(U.S.A.)	13 テクノグリーン (株)
5 アイシン精機 (株)	14 (株) テクノスジャパン
6 イズミ (株)	15 パシフィックビジネス (株)
7 (株) ウェル・ネット研究所	16 ファイン (株)
8 (株) 内田洋行	17 松本ナース産業 (株)
9 カキウチ商事 (株)	18 (株) リッチェル

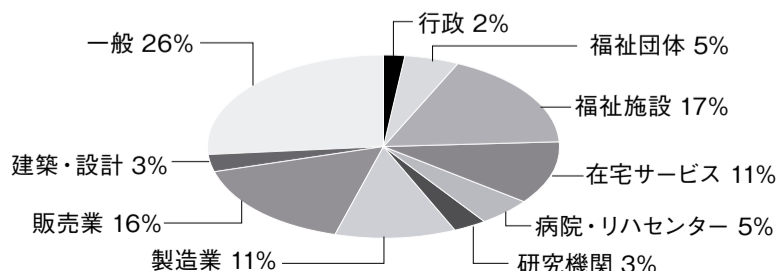
※ 社名五十音順/アルファベット順

4. 来場者数は108,505人に 108,505 Visitors Increase in the General Public

第39回国際福祉機器展H.C.R. 2012の来場者数は、のべ108,505人となりました。来場者の分類では、一般の方が26%と最も多く、続いて福祉施設の17%、販売業の16%、在宅サービスと製造業の11%の順となりました。昨年度と比較すると、販売業や製造業の方々の来場の割合が増えています。

●来場者分類

9月26日(水)	36,217人	晴れのち曇り	—
9月27日(木)	39,522人	晴れのち曇り	75,739人
9月28日(金)	32,766人	曇り	108,505人



5. 出展製品 Exhibition Products

【製品別出展社数】

①移動機器		
1 手動車いす	39	
2 車いす関連用品	57	
3 電動車いす	29	
4 電動三輪・四輪車	7	
5 自転車	5	
6 介助車	13	
7 歩行者・歩行補助車	61	
8 杖	38	
9 ストレッチャー等移動器具	4	
10 移乗補助機器	21	
11 床走行リフト	10	
12 固定式・据置式リフト	13	
13 介助・歩行補助ロボット	6	
14 障害者用自動車運転装置	7	
15 車いす等用福祉車両	14	
16 入浴用特殊車両	1	
17 福祉施設等業務用自動車・エコカー	1	
②ベッド用品		
18 ベッド	22	
19 マットレス・床ずれ防止製品	49	
20 サイドテーブル	10	
21 介護用スーツ	18	
22 その他	17	
③入浴用品		
23 浴槽	20	
24 入浴用チェア	24	
25 滑り止め用品	15	
26 浴槽台	14	
27 入浴用リフト	12	
28 その他	11	
④トイレ・おむつ用品		
29 ポータブルトイレ	22	
30 便器・便座	11	
31 防臭剤・消毒剤	9	
32 トイレ関連用品	28	
33 おむつ関連用品	16	
⑤衣類・着脱衣補助用品		
34 衣類	26	
35 靴	20	
36 帽子・保護帽・かつら	4	
37 着脱衣補助具	3	
⑥コミュニケーション機器		
38 補聴器	6	
39 緊急通報・見守り装置	26	
40 障害者用OA機器、ソフトウェア、操作補助具	9	
41 障害者用AV機器	2	
42 拡大読書器	4	
43 活字文書読上げ装置	2	
44 福祉電話、FAX、携帯会話補助器	6	
45 コミュニケーション関連ロボット	3	
46 その他	17	
⑦建築・住宅設備		
47 スロープ	22	
48 手すり	30	
49 エレベーター	1	
50 段差解消機	17	
51 階段昇降機	11	
52 その他	16	
⑧リハビリ・介護予防機器		
53 歩行等訓練機器	23	
54 リハビリ用教材・機器	27	
55 筋力トレーニング機器、身体機能訓練機器	30	
56 口腔ケア用品	11	
⑨義肢・装具		
57 義肢・装具	15	
⑩日常生活支援用品		
58 自助具	20	
59 障害者用スポーツ・レクリエーション用品	11	
60 介護関連用品	34	
61 その他	17	
⑪介護等食品・調理器具		
62 食器用具・食器	17	
63 キッチン	2	
64 調理器	3	
65 高齢者・障害者向け食品	18	
⑫福祉施設・住宅環境設備・用品		
66 施設用床材・壁材	8	
67 自然エネルギー・省エネルギー技術機器	2	
68 洗濯機・乾燥機、掃除機、脱臭器	11	
69 いす・座位保持/立ち上がり補助用品	16	
70 家具・テーブル・洗面台	19	
71 火災報知設備、自動消火設備	1	
72 防災・避難用品	10	
73 自家発電・蓄電装置	1	
74 介護職員用衣類	10	
75 その他	27	
⑬感染症等予防用品		
76 空気清浄器・加湿器・消毒器	11	
77 その他	12	
⑭在宅・施設サービス経営情報システム		
78 福祉事業関係コンピュータシステム	40	
⑮出版・福祉機器情報		
79 福祉・介護・リハビリ保健関係書籍・教材、情報誌、新聞、放送通信、福祉機器関連WEBサイト	29	

6. デンマークから講師を招き、税と社会保障について 国際シンポジウムを開催 H.C.R. 2012 International Symposium

H.C.R.では国際福祉機器展の開催と併せて、諸外国とわが国に共通する福祉・介護分野の政策的な課題について、海外から専門家を招いて当該国の取り組み状況や今後の課題を紹介する国際シンポジウムを開催しています。



H.C.R. 2012では、わが国で「社会保障と税の一体改革」の検討が進められ、社会保障の財源の確保のために2年後からの消費税の段階的な引き上げを決定するまでの議論の経過なども踏まえ、わが国の今後の社会保障制度と財源確保や財政再建のあり方について考察することとしました。

シンポジウムでは、EUの加盟国で、高い税負担によって高福祉社会を実現しているといわれるデンマークの専門家を講師として招き、デンマークにおける社会保障政策に対する考え方や現状と課題などをわが国の実情と照らして意見交換を行い、この問題についての理解を深めました。参加者は295名でした。

H.C.R. 2012 国際シンポジウム

9月27日(木) 13:00 ~ 16:00

「税と社会保障の改革で財政危機と高齢化に立ち向かう」

～デンマークの取り組みは日本に生かせるか～

- 講師：Ole Kjær (オーレ・ケア)氏
デンマーク国税省・税制度検討推進役、元デンマーク国税・関税管理局局長
- チューター：近藤 純五郎氏 (元厚生労働事務次官、弁護士)
- 会場：会議棟6F 605-608会議室

9月27日(木)	
12:00 ~ 12:30	タブレットPCや携帯電話のアクセシビリティ ~障害のある人がiPhoneやiPadを使うには? 田代 洋章 氏/e-AT利用促進協会
13:30 ~ 14:00	デジカメやICレコーダと認知障害支援 中邑 賢龍 氏/東京大学
15:00 ~ 15:30	PCのアクセシビリティ ~障害のある人がWindowsを使うには? 近藤 武夫 氏/東京大学
9月28日(金)	
12:20 ~ 12:50	ゲーム機を福祉に活かす ~キ넥トを使った重度肢体不自由支援 巖淵 守 氏/東京大学
14:20 ~ 14:50	タブレットPCや携帯電話のアクセシビリティ ~障害のある人がiPhoneやiPadを使うには? 田代 洋章 氏/e-AT利用促進協会

7. H.C.R.セミナー

H.C.R. Seminar

H.C.R. 2012に来場される福祉サービスの利用者やそのご家族、そして、保健・福祉・介護の関係者などが、制度の動向や現在の課題、福祉サービスの質や経営をめぐる最新情報などについての理解と共有化を図るためにH.C.R.セミナーを開催しました。

多岐にわたるテーマによる各セミナーには関心が高く、利用者とそのご家族をはじめ、介護支援専門員、社会福祉施設役職員、ホームヘルパー、社協役職員などのべ5,487人に参加していただきました。

1) 一般、福祉利用者・家族向け

① 腰痛を予防する介護の方法・基本編

会場	会議棟6F 605 ~ 608会議室
日時	9月26日(水) 11:00 ~ 12:30
講師	青柳 佳子 氏 目白大学短期大学部生活科学科 専任講師

② 有料老人ホーム、サービス付高齢者住宅等の現状と選び方

会場	会議棟6F 605 ~ 608会議室
日時	9月27日(木) 10:30 ~ 12:00
講師	小瀬 有明子 氏 NPO法人シニアライフ情報センター 理事

③ はじめての福祉機器 選び方・使い方セミナー

(会場：東3ホール 特設会場A)

「基本動作編」「自立支援編」「住宅改修編」の3編をさらに以下の10のテーマに分類して、3日間にわたりセミナーを開催しました。

日程	時間	テーマ	講師
26日(水)	11:00 ~ 12:00	住宅改修	首都大学東京大学院人間健康科学研究科 准教授 橋本 美芽 氏
	13:00 ~ 14:00	トイレ・排泄用品	NPO法人日本コンチネン協会 牧野 美奈子 氏
	15:00 ~ 16:00	入浴機器	高齢者生活福祉研究所 所長/理学療法士 加島 守 氏
27日(木)	11:00 ~ 12:00	ベッド	福祉技術研究所(株) 代表取締役 市川 洵 氏
	12:30 ~ 13:30	リフト等移乗用品	福祉技術研究所(株) 代表取締役 市川 洵 氏
	14:00 ~ 15:00	車いす	勸武蔵野市福祉公社 作業療法士 堀家 京子 氏
	15:30 ~ 16:30	自助具	ヒューマン ユニバーサルデザインオフィス 代表 岡田 英志 氏
28日(金)	11:00 ~ 12:00	福祉車両	国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局 自立訓練部機能訓練課 自動車訓練室 熊倉 良雄 氏 国立障害者リハビリテーションセンター病院 リハビリテーション部 副理学療法士長 岩崎 洋 氏
	13:00 ~ 14:00	杖・歩行器等補助用品	高齢者生活福祉研究所 所長/理学療法士 加島 守 氏
	15:00 ~ 16:00	コミュニケーション機器	東京大学 先端科学技術研究センター 人間支援工学分野 教授 中邑 賢龍 氏

④ 知っているといかに便利! IT機器の福祉的活用講座

(会場：東6ホール会議室 特設会場B)

私たちの日常生活に不可欠なIT機器などのテクノロジー、たとえば、携帯電話やタブレットPC、ゲーム機やデジカメなどは、使い方の工夫次第で障害がある人や高齢者の暮らしを大きく変えるツールになりうることを、知っているといかに便利な身近なIT機器の使い方として紹介しました。

9月26日(水)	
12:20 ~ 12:50	タブレットPCでコミュニケーション ~ iPadと新しいTaking Aid 田代 洋章 氏/e-AT利用促進協会
14:20 ~ 14:50	ゲーム機を福祉に活かす~キ넥トを使った重度肢体不自由支援 巖淵 守 氏/東京大学
16:10 ~ 16:40	タブレットPCと障害児支援 ~ iPadを魔法の筆箱や魔法のじゅうたんに変える 中邑 賢龍 氏/東京大学

⑤ 高齢者むけの手軽な日々の食事 ~市販の惣菜やレトルト食品をおいしくバランスアップ (会場：東6ホール 特設会場C)

一人暮らしや高齢者夫婦だけの世帯では日々の食事をつくる機会が減り、スーパーの総菜やコンビニ弁当で済ませることも増えて、栄養バランスを気遣う必要が高まってきている傾向を踏まえ、コンビニ弁当やスーパーの惣菜をもとにしつつ、ひと工夫を加えることで栄養のバランスがとれた食事にし、健康的な食生活をおくることをめざしたメニューを紹介しました。

日時	9月26日(水)~28日(金)の各13:00 ~ 14:00の時間帯
講師	今 寿賀子 氏 虎の門病院栄養部 部長 押田 京子 氏 虎の門病院栄養部 副部長



2) 福祉職向け

① 福祉施設における感染症の知識と対応

会場	会議棟7F 703会議室
日時	9月26日(水) 13:30 ~ 15:30
講師	安井 良則 氏 国立感染症研究所 感染症情報センター 主任研究官

② 生活保護3兆円の衝撃

会場	会議棟6F 605 ~ 608会議室
日時	9月26日(水) 13:30 ~ 15:30
講師	前田 浩一 氏 NHKスペシャル「生活保護3兆円の衝撃」取材班 チーフプロデューサー

③ 社会福祉施設等における生きものの活用 ~動物愛護から生物多様性保全まで

会場	会議棟7F 703会議室
日時	9月27日(木) 13:30 ~ 15:30

○プログラム

(事例報告者)

- a. 老人福祉施設でのセラピー犬の活用 伊藤 裕成 氏/NPO法人日本レスキュー協会 理事長
 - b. エゾシカの皮の利用を障害者雇用につなげる 菊地 貞雄 氏/NPO法人あうず 専務理事
- 司会・進行:(財)地球・人間環境フォーラム

④ 福祉施設で実践されている福祉サービスの創意・工夫の取り組み ~1.危機管理に対する取り組み

会場	会議棟6F 605 ~ 608会議室
日時	9月28日(金) 11:00 ~ 12:30

○事例発表者

- a. 災害時想定訓練~食事の安全な提供に向けて
社会福祉法人北慶会 特別養護老人ホーム 北野よろこび苑
 - b. 送迎時の車両事故防止策に固定チームを導入して 社会福祉法人こうほうえん
 - c. 男性浴室における事故の減少のための環境改善
社会福祉法人クムレ 障がい者支援施設 あしたば
- 司会進行: 柿本 貴之 氏 社会福祉法人暁谷福祉会 常務理事

⑤ 福祉施設で実践されている福祉サービスの創意・工夫の取り組み ~2.ケアの場面における創意・工夫

会場	会議棟6F 605 ~ 608会議室
日時	9月28日(金) 13:30 ~ 15:30

○事例発表者

- a. 現場ですぐに役立つテキスト(手引書)を現場でつくる 社会福祉法人啓光福祉会 啓光学園
- b. 特別養護老人ホームにおける腰痛予防の取り組み~持ち上げない介護の実践を目指して
社会福祉法人正仁会 特別養護老人ホームなごみの郷

- c. 暑い夏を乗り越えよう!～ひと涼みしようプロジェクト 社会福祉法人昭徳会 ケアハウス大阪安立
 - d. 通所介護における科学的介護の実践～口腔機能向上の取り組み
社会福祉法人清和園 デイサービスセンター清和園
 - e. 漬物つけたんでえ。食べてみて～片麻痺利用者の調理活動へのチームアプローチ
社会福祉法人恭和会 ケアハウス四季が丘 デイサービスセンターサンライズ
- 司会進行：湯川 智美 氏 社会福祉法人六親会 常務理事

⑥ 福祉施設で実践されている福祉サービスの創意・工夫の取り組み～3.地域社会との関わりやセーフティネットづくりに向けた取り組み

会場	会議棟7F 703会議室
日時	9月28日(金) 13:30～15:30

○事例発表者

- a. 認知症になってもこの街に住みたい
社会福祉法人寿楽福祉会 寿楽荘千里山西ヘルパーステーション
 - b. 福祉と農業による地域の活性化をめざす 社会福祉法人同仁会 障害者支援施設のぞみ園
 - c. 家族会を中心としたNPO法人設立による法人後見への取り組み
社会福祉法人旭川荘 睦学園 NPO法人ゆずり葉の会
 - d. 生活保護受給者を自法人にて雇用の事例 社会福祉法人萬象園 救護施設 萬象園
 - e. 障害者地域生活支援システムの構築～セーフティ・ネット拠点事業と地域生活定着支援センターの運営から
社会福祉法人同愛会 障害者支援施設 光輝舎
- 司会進行：斎藤 弘美 氏 社会福祉法人大洋社 常務理事

8. H.C.R.特別企画 (常設展示・相談・デモンストレーション) Special Events

① 高齢者・障害者等の生活支援用品コーナー ～片手で使えるモノ展～ (東3ホール 特設会場A)

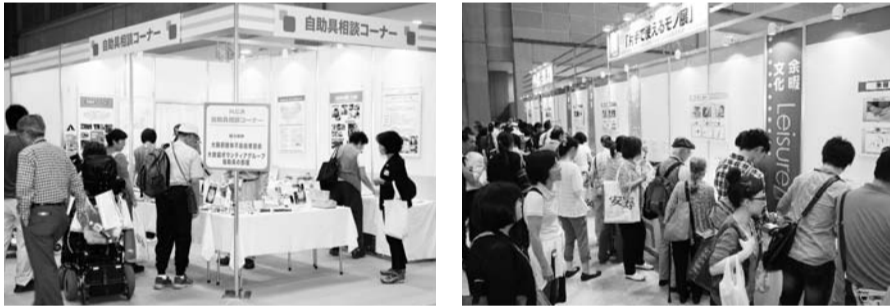
高齢者や障害者の生活を便利にすることを目的とした福祉用具や用品を紹介することをねらいとした本コーナーを、H.C.R. 2012では、ブース内を一日の生活のなかの「洗面」「着衣」「炊事」「食事」「家事」「トイレ・入浴」「余暇・趣味」の具体的な場面に分類し、生活場面ごとの片手で使うのに便利な製品に展示テーマを絞り込んで、「片手で使えるモノ展」と題して開催いたしました。

(企画・監修：共用品推進機構、協力：日本作業療法士協会)

② ふくしの相談コーナー

作業療法士や技師などの専門家が来場者の福祉機器、自助具に関わる相談を行いました(無料)。

(協力：日本作業療法士協会、大阪府肢体不自由者協会ボランティアグループ自助具の部屋)



③ 障害児のための「子ども広場」

(東6ホール 特設会場C)

親たちが子どもと一緒に広いホール内の福祉機器を探して移動する負担を少しでも軽減するため、「子ども広場」を会場内に設置して子ども向けの福祉機器を総合展示するとともに、福祉機器の利用や療育についての相談コーナーや、保育経験のある保育士が常駐するひとやすみコーナーなどを設けました。

a.福祉機器展示コーナー

親子が参加して試せる子ども向けの福祉機器の常設総合展示と製品説明を行いました。

(製品説明タイムスケジュール)

	11:00～12:00	15:00～16:00
9月26日(水)	○いす・カーシート ○学習機器/コミュニケーション機器 ○食食用具・食器/衣類・靴	○車いす ○バギー・歩行器
9月27日(木)	○車いす ○バギー・歩行器	○いす・カーシート ○学習機器/コミュニケーション機器 ○食食用具・食器/衣類・靴
9月28日(金)	○いす・カーシート ○学習機器/コミュニケーション機器 ○食食用具・食器/衣類・靴	○車いす ○バギー・歩行器

b.相談コーナー(無料、療育相談と福祉機器相談)

3日間とも、11:00～12:00、13:00～14:00、15:00～16:00に実施しました。
(協力:横浜市総合リハビリテーションセンター)

c.ひとやすみコーナー

保育士が常駐し、広場のおもちゃを使って子どもたちと遊んだり、保護者のみなさんと子育てについてお話する場として設けました。

(協力:東京都社協保育士会)

④ 福祉機器開発最前線

(東6ホール 特設会場C)

福祉機器は高齢者や障害者の自立や介護の支援に大きな役割を果たします。H.C.R. 2012では、企業・研究機関での製品の研究開発、試作状況などの情報提供や紹介の場を設け、最新の機器や製品の集中展示とデモンストレーションを行いました。

- a. 生活支援ロボットHSR (Human Support Robot) トヨタ自動車(株)
- b. 障害物回避先導ロボット NMR002 日本精工(株)
- c. ミケランジェロハンド オットーボック・ジャパン(株)
- d. 携帯リフト～旅のスタイルが変わる!～ (株)モリトー
- e. パーソナルモビリティビークル RT-Mover P type3 千葉工業大学 中嶋研究室
- f. 着脱が容易な電動ユニットを装備した電動手動兼用車いす(開発呼称:O3E)
(株)オーエックスエンジニアリング
- g. 片流れ検知・軽減走行技術を用いた安全で使い勝手の良い電動車いす
アイシン精機(株) / (株)今仙技術研究所 / 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 / (独)産業技術総合研究所
- h. 障がい変化対応ユニット・モジュール型電動車いす:レル・シリーズ (有)さいとう工房



⑤ ふくしの防災・避難用品コーナー

(東6ホール 特設会場C)

2011年の東日本大震災や異常気象などによって多くの福祉施設が被害を受けたことを踏まえ、今後の災害に備えるため、福祉施設向けの防災・避難用品や被災地で役立つ福祉機器をH.C.R. 2011に引き続き集中展示いたしました。

H.C.R. 2012では、発災からおおむね2日間で避難所などの安全な場所に身柄を確保されるまでに必要な製品に展示テーマを絞り込み、

- a. 「発災」から「一時避難」(初期対応、移動、コミュニケーションなど)に必要な製品
- b. 「一時避難・避難生活関連」(トイレ、マット・毛布・シート、水、食事、電源、照明、暖房、住居など)の製品

の2つのスペースに区分し、臨場感のある展示とデモンストレーションを行いました。

⑥ 被災地応援コーナー

(東6ホール 特設会場C)

H.C.R. 2011に引き続き、東日本大震災で特に被害の大きかった東北3県(岩手県、宮城県、福島県)のセルプ(障害者授産施設)の製品を販売するコーナーを設けました。

